

意見のまとめ

1. 会員増加・活性化に向けた課題

(1)新規会員の定着

- 入会後に就業せず退会するケースが増えている。
- 入会後のフォロー不足や、会員同士のつながりの弱さが背景にある。
- 交流機会(親睦会など)の充実が必要。

(2)仕事内容の偏りと体力面

- 入会年齢が高くなり、体力的に負担の大きい仕事が合わないとの声が多い。
- 仕事の種類が少なく、「働きたい仕事がない」という不満がある。

(3)就業募集に関する意見

- 募集内容が毎回同じに見え、新鮮味がない。

(4)イベント・会議の通知時期

- 通知は最低1カ月前に出してほしいという要望が多い。
- 就業中の会員は、通知が遅いとシフト調整ができず参加しにくい。

(5)会費制度への疑問

- 他センターでは年会費がない例もあり、仕事が少ない中での会費負担に不満がある。

2. 仕事の確保と事業者へのPR

(1)仕事量の不足

- 会員増よりも、まず仕事量の確保が重要との意見。
- 希望に合う仕事が少なく、マッチングが難しい。

(2)事業者へのPR強化

- 地域情報誌「にぎわい」などを活用し、事業者向けPRを強化すべき。
- センターの認知度向上が仕事確保につながる。

意見のまとめ

3. 班長制度・配布物・コミュニケーション体制

(1) 班長制度の見直し

- 班長の高齢化・なり手不足が進んでいる。
- 制度を現状に合わせて再検討する必要がある。
- 廃止した場合、班長手当を郵送費などに転用できる可能性がある。

(2) 配布物の効率化

- 互助会のみでの会員や既に就業中の会員へのチラシ配布は不要との意見。
- 対象を絞ることで班長の負担軽減が期待できる。

(3) 理事会・事務局と会員のコミュニケーション

- 班長制度縮小時には、理事会・事務局と会員の接点が減る懸念がある。
- 過去に実施していた地域懇談会の復活など、直接意見を聞く場の再構築が望まれる。

4. まとめ(主要テーマ)

- 新規会員の定着支援(フォロー・交流強化)
- 仕事内容の多様化と高齢層への配慮
- 事業者への PR 強化による仕事確保
- 班長制度・配布物の見直しとコミュニケーション体制の再構築